

鈴木大介 (ギター)

Daisuke Suzuki, Guitar

‘95年留学先のザルツブルグで自主制作した録音を作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評され、作曲者の依頼によって翌年に録音、ベストセラーとなった『武満徹ギター作品集』(97)によって高い評価を得る。以後、室内楽とコンチェルトを含む膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術によって常に注目を集める。

これまで池辺晋一郎、西村朗、猿谷紀郎、伊左治直、金子仁美、酒井健治(敬称略)らを始めとする現代日本の作曲家による作品の初演を数多く行った他、武満徹による遺作「森のなかで」「ギターのための小品～シルヴァーノ・ブソッティの60歳の誕生日に」「ヴァイオリン、ギターとオーケストラのためのスペクトラル・カンティクル」を世界初録音。板倉康明 指揮 東京シンフォニエッタと初演した西村朗作曲ギター協奏曲「天女散花」のライブは、2013年度のレコード・アカデミー賞現代音楽部門を受賞。

映画音楽を中心とする多くの名曲のアレンジは録音やコンサート共に好評で、様々なギタリストに提供・演奏されている。楽譜は現代ギター社から『12のエチュード』、『キネマ楽園 ギター名曲集』『Daisuke Suzuki The Best Collection for Guitar solo (1&2)』を、2021年2月20日には、武満徹没後25周年を記念して、『武満徹 映画とテレビ・ドラマのための音楽 ギター編曲作品集』をショット・ミュージックより出版。

斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作は、いずれも高い評価を受け、『カタロニア讃歌～鳥の歌／禁



© Nobuo MIKAWA

じられた遊び～』は2005年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。2022年より8弦ギターによる新たな音響の世界を追求、アルバム『浪漫の薫り』では多弦ギターのために書かれたロマン派作品を録音した。

最新作は2026年に没後30年となる武満徹の‘歌心’に光をあてた『海へ』。

マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレッサンドリア市国際ギター・コンクール優勝。第10回出光音楽賞、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

Daisuke Suzuki Guitar Recital PASSION II Special Guest Jin Oki

沖仁 (ギター)

Jin Oki, Guitar

幼少の頃より様々な楽器を親しみ、クラシックギター、アコースティックギター、エレキギターを体系的に学ぶ。やがてフラメンコギターに魅了されセラニート氏に師事。スペインと日本を往復しながら、アンダルシアの生活に根付いた本場のフラメンコを吸収し本格的に研鑽を積む。日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2006年メジャーデビュー。2010年、スペインのフラメンコギター国際コンクール国際部門で日本人初の優勝。その様子を密着取材したTBS系「情熱大陸」で大きな反響を呼ぶ。フラメンコギターの教則本を出版や、EXILEへのシングル曲提供など、執筆、プロデュース、作曲に力を入れる。20カ国以上の海外での演奏、各ジャンルのトップアーティストやオーケストラとの共演、バレエ、長唄、能、アニメ作品とのコラボレーションなど多岐に渡りフラメンコの枠を超えた価値創造に邁進。後進の育成にも力を注いでいる。日本フラメンコ協会理事。